



1年生が入学してからあっという間に3ヶ月が経ち、前期の授業も後半戦に突入しています。2年生は2年間で一番のメイン実習となる、3週間の幼稚園本実習を終えて学校に戻ってきました。本実習を終えるといよいよ就職に向け活動を始めていきます。今回は、2つの授業紹介と平成24年度絵本ワークショップの受賞作をご紹介します。

ABCキッズ・イングリッシュ



子ども達に初めて教える基本的英語活動を英語の歌、ゲーム等を通して学んでいきます。受験英語、学校英語とは違った観点から『生きた英語』『使える英語』の指導内容、指導方法を学ぶことを目標としています。

履修学生インタビュー

Q.1 履修のきっかけは？

- ・実習園で3歳児クラスから英語を取り入れていて、とても楽しそうに英語を話す子ども達を見て、私も子ども達に楽しい英語を教えられようになりたいと思ったので。
- ・英語が好きというのと、もっと英語の知識を増やして子ども達に教えていくことができるようになりたいと思ったので。

Q.2 授業の目標は？

- ・積極的に英語を話す授業で、耳がだんだん英語に慣れてきました。英語の基礎をしっかりと身につけていきたいです。
- ・基礎英語を確認しながら、カッコイイ英語を話せるようになりたいです。



保育の言語表現技術

保育の言語表現技術の授業では、子どもの発達を『表現』の観点から捉え、言語表現活動に関する知識や技術を習得していきます。6/20(木)の授業では、子どもの発達と人形劇に関する知識と技術の内容として学生一人一人が製作した手袋による『手袋人形シアター』の発表が行われました。子ども達のよく知っている“ドレミの歌”や、絵本のお話を手袋で表現したり、それぞれ製作の意図や工夫点について発表しました。

ドレミはドーナツのド♪



おもちゃの
チャチャチャ♪



あかい色がすき♪



どんな色がすき♪



おぼけの
アイスクリーム屋さん



絵本ワークショップ 平成24年度受賞作紹介

本学では教材開発の方法の1つとして、授業の中で学生が手作り絵本を製作しています。作品は先生方による選考が行われ、最終的に選ばれた作品は製本し、本学図書館や近隣の幼稚園・保育所に置いていただいています。世界に1つしかない、自分が作った絵本は作品としてだけでなく実際に実習で子ども達に読み聞かせも行っています。



原田 さやさん(2年)

この絵本で伝えたいことは、“みんな一人一人個性があり、みんなステキだ”ということです。読んでくれた人が、“認め合うことは大切なことなんだ”と思ってもらえたらうれしいです。